

鹿児島県で急傾斜事業への適用がOKになりました。

鹿児島県では人命を預かる急傾斜事業において、道路事業における実施例を経過観察することにしていました。10年経過し、良好な状態であることから、2016年8月からLL補強土工を急傾斜事業にも適用しても良いことになりました。

【現場例 犬迫】

シラス斜面ではめったに起きない円弧型の崩壊が起きた現場にLL補強土工を適用して、10年経過しました。斜面の半部程度がN値=1~3の軟質斜面にも関わらず、LL補強土工は斜面を安定保ちました。シラスの表層が風化し約100年後に崩壊しようとした時も、LL補強土工は斜面の安定を保つと考えられます。



工事前に崩壊したシラス斜面（円弧型の崩壊は極めて風化したシラスで稀に発生）



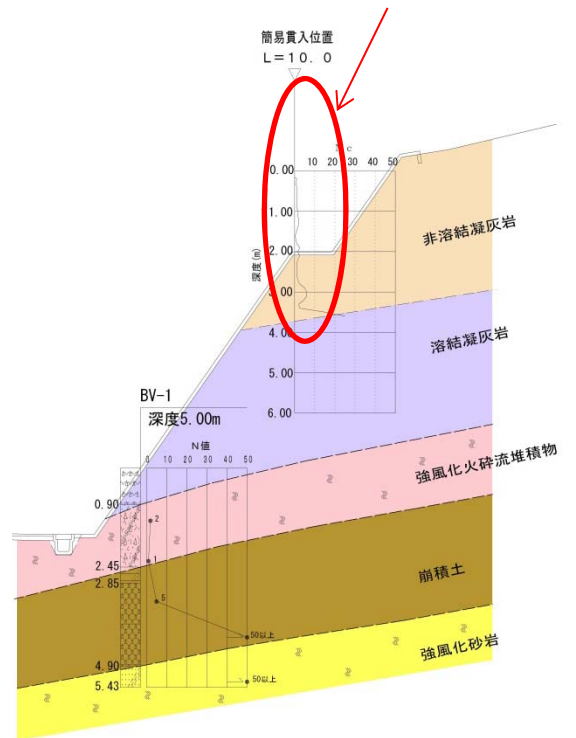
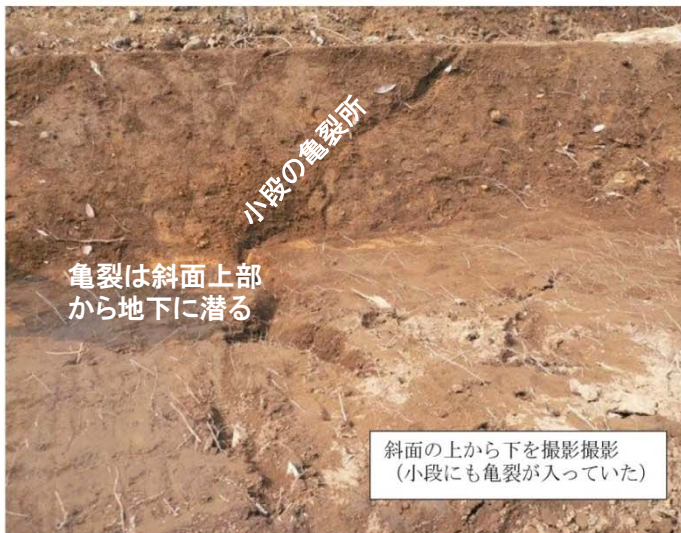
完成直後

【現場例 平鹿倉】

すでに亀裂があった N 値=0~1 の軟質斜面も LL 補強土工施工後は安定化しています。
 (設計前の引抜き試験実施で周面摩擦抵抗を確認)



法面の上部斜面は、
 N値=0~1と非常に軟質



8年経過し、対策後の斜面は安定を保っています。

HPのご紹介

「長寿補強土株式会社」のホームページには、設計施工資料や積算プログラムが揃っています。また、ご質問は、お気軽にお問い合わせください。TEL099-275-9234